

協働のカタチ③ 市民の取り組みを市がサポート

# 新屋表町のまちづくり

市民▼まちづくりの主体  
市▼専門性を生かして援助



左から矢田目真希子さん、佐々木長心さん、美短の官能右泰・准教授(新屋参画屋のロゴデザイン)と石垣充・助教(活性化推進委員会委員長)

平成17年には美短開学10周年事業として、学生たちが作った三十六歌仙の立て札を町中に掲示しました。



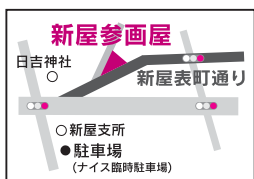
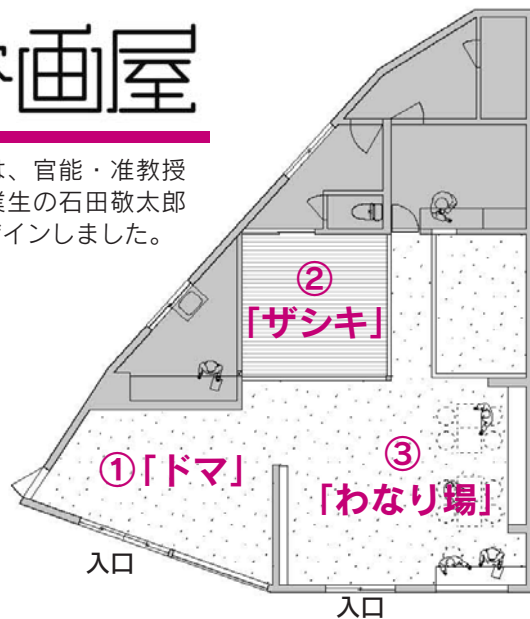
平成19年、地域のかたや秋田公立美術工芸短大の教員などによって、「新屋表町通り活性化推進委員会」が設立されました。これまで、歴史的建築物と湧き水を生かして新屋表町通りの活性化や景観向上に取り組んでいます。昨年10月には、(財)秋田学術振興財団の補助や、商店会、振興会の寄附金を活用し、古い商店を改装。まちづくり活動の拠点「新屋参画屋」をオープンしました。

レトロな雰囲気の内装デザインや改装工事は美短の教員や卒業生が手伝いました。卒業生で建築模型が専門の矢田目真希子さんは「一人とのつながりが築けて、制作活動にもプラスになる」と話します。

推進委員で新屋商店会会長の佐々木長心さんは「地域のかたや学生たちが参画屋に通い、商店街の通行人が増えることで昔のにぎわいが戻ってくる」といい、「参画屋の効果に期待しています」。

## 新屋参画屋

上のロゴは、官能・准教授と美短卒業生の石田敬太郎さんがデザインしました。



営業時間／午前10時～午後5時  
休業日／水・日曜日、祝日  
駐車場／ナイス臨時駐車場(新屋支所裏)  
電話／(828)8561

### 貸しスペース①「ドマ」・②「ザシキ」

にぎわい創出のため、「ドマ」と「ザシキ」を貸し出します。詳しくは参画屋事務局へ。☎(828)8561

#### 使用料金

■1スペースにつき  
1,500円/1日(新屋地区のかたは  
1,000円、美短の  
学生は500円)

※11月～4月は暖房費として+500円。



昨年12月下旬には、美短2年生の鈴木良拓さんと保坂剛志さんが、服や絵、ランプなどの展示会を開催しました。

### ③新屋表町食堂「わなり場」

営業時間／午前11時30分～午後11時(日曜日は午後5時まで)

休業日／水曜日、祝日

電話／090-3506-8924



正午～午後2時30分のランチが好評

市民協働に決まったカタチはないんだ。より良いまちをつくらうという、市民と市の共通の思いがあれば、そこに「市民協働」があるんじゃないかな。



## ほかにもいろいろ 市民協働

### しあわせづくり 秋田市民公聴条例



市でいろいろな計画づくりを進める際に、企画立案の過程で市民のみなさんの「思い」などをしっかりと聞き、受け止めながら、より良い方向に導こうというルール(条例)です。計画などについて市が最終的な意志決定をする前に、その案を公表し、市民から意見を求めます。

市民から寄せられた意見は公表し、その際には、意見に対する市の考えも合わせて公表することになっています。

\* 今号の広報あきた8ページで、市のさまざまな計画案について意見を求めています。

問い合わせ 市民相談室 ☎(866)2039



### ボランティア清掃

町内会、学校、企業、ボランティア団体などが公共用地の清掃や草刈りを実施する際に、集めたごみを市が回収・処理します。

問い合わせ 環境業務課 ☎(863)6631

### ・ 街路樹愛護会 ・ 公園愛護協力会



市が所管する街路樹やその周辺、公園や緑地で、地域の町内会などで結成した各愛護会が自主的に除草や清掃を行っています。市は刈った草の回収や巡回パトロールを行うほか、愛護会の活動に対し報償金を交付しています。

問い合わせ 街路樹…道路維持課 ☎(864)3643  
公園…公園課 ☎(866)2154

市民 ▶ バイカーズオアシスの開催  
市 ▶ CO<sub>2</sub>削減のため参加



中通で自転車店を営む佐々木泰作さん

## 協働のカタチ④ 市民の取り組みに市が参加

# BIKE TO WORK DAY

NPO法人バイシクルエコロジージャパン(BEJ)では昨年5月から、自転車通勤のかたに飲み物などを提供する「バイカーズオアシス」を第3木曜日の朝、全国各地に設置しています。秋田市では、保戸野鉄砲町のケーキ屋の前で開催しています(11月〜3月を除く)。主催した佐々木泰作さんは「秋田は起伏が少ないので、自転車生活に向いています。環境にやさしいうえメタボ対策にもなるし、その良さをもっと知ってほしい」と訴えます。

一方、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減を進めている市環境企画課。佐々木さんの取り組みに、「これなら誰でもすぐできるし、環境対策に有効!」と協力を申し出ました。6月からは、市環境部前でも、バイカーズオアシスを開催しています。早くも市内2か所目ができたことに驚く佐々木さん。「行政がこんなに早く協力するなんて、東京のBEJ本部もビックリ! 立場が違っても手を取り合って頑張れる秋田って良いですね!」



佐々木さんたちは、保戸野鉄砲町の「ホームメイドケーキかほちゃ」前(写真上)で、環境企画課は、国道7号沿いにある市環境部前(写真右)で開催(11月〜3月を除く)。

問い合わせ  
S arrow akita  
☎(836)0687

